

ICT地盤改良技術



【ICT-静的SCP工法】

【ICT-深層混合処理工法】

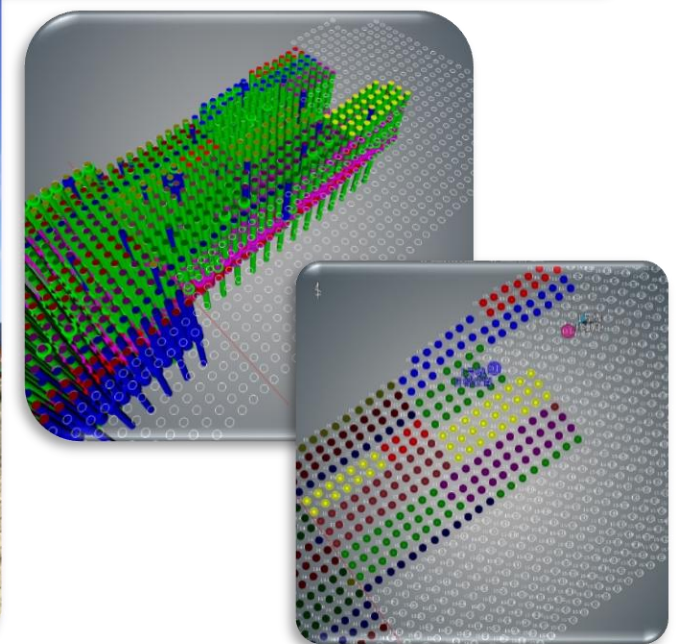


〒101-0021
東京都千代田区外神田二丁目2-3 住友不動産御茶ノ水ビル
【お問い合わせ先】技術事業本部技術管理部 TEL:03-5209-7876 FAX:03-5209-7887
【Home Page】 <https://www.aomi.co.jp/>

【ICT-静的SCP工法】



【ICT-深層混合処理工法】



ICT技術で地盤を可視化する工法!

技術の概要 Overview

地盤中を改良する地盤改良工事は可視化することができません。

そこで、地盤改良施工機にICT技術（情報通信技術）を活用した施工管理装置（位置誘導システム・打設管理システム）を搭載することで、信頼性の高い地盤改良工法を提供します。

静的SCP工法（KS-EGG-SE工法）や深層混合処理工法（S・MIX工法）など、汎用的な施工機に設置して施工することが可能です。

【GNSSアンテナ】



【施工管理システム(運転席モニター)】



(位置誘導)

(打設管理)

施工管理装置



工法の特長 Characteristics

正確な位置誘導

GNSSを用いた位置誘導システムを採用することで、施工する杭の杭芯測量が不要となります。

確実な施工手順

施工管理システムからのガイダンスに従い正確な施工手順での施工が可能となります。

リアルタイム管理

施工情報（移動状況・施工位置・打設状況）をタブレット端末等でリアルタイムに確認できます。

確実な着底管理

事前に着底管理基準（深度・電流値・速度）を設定することで、支持層に到達したことをオペレータにガイダンスできます。

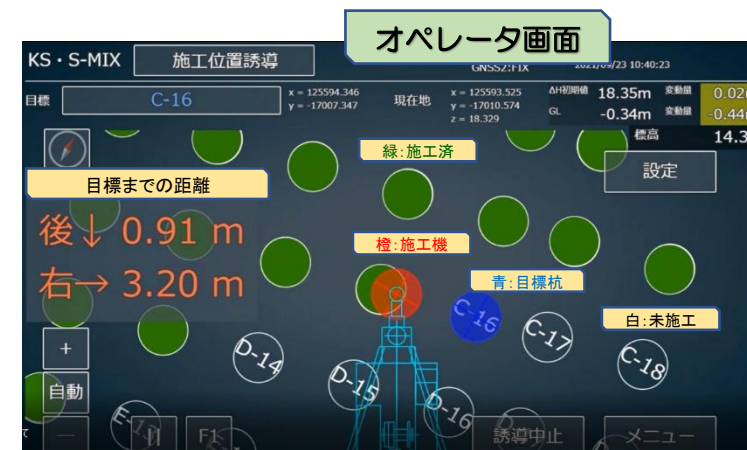
クラウド管理

インターネットを経由して位置・打設データをクラウド管理することで、情報を共有することが可能になります。

位置誘導システム

従来は、施工杭の位置を明示するため杭芯測量を行っていましたが、位置誘導システムを用いることで不要となります。

また、進捗状況が施工管理装置に反映されるため、同じ杭を施工する等のミスを防ぎ確実に施工位置に誘導することができます。



リアルタイム管理

現場内LANを設置することで、施工情報（移動状況・施工位置・打設状況）をタブレット端末等でリアルタイムに確認することができます。

これまでは、施工中に施工管理者が必要に応じて運転席モニターを目視で確認していましたが、施工機に近づくことなく安全に施工情報を確認することができます。

位置誘導



打設管理

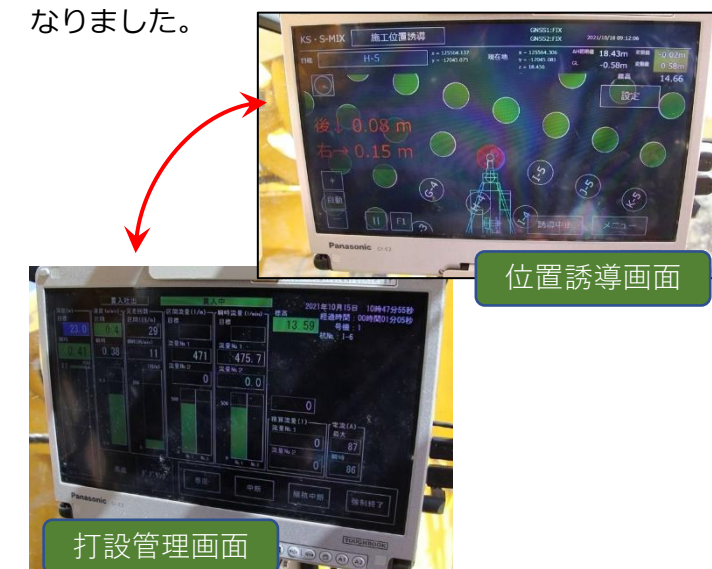


施工状況確認



確実な施工手順

施工位置移動から打設まで、オペレータがワンモニターで管理することができるので、施工管理装置からのガイダンスに従い正確な手順での施工が可能となりました。



位置誘導画面

打設管理画面

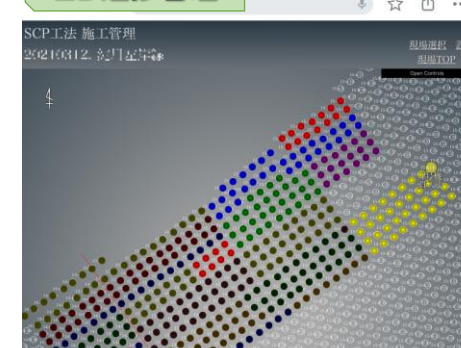
クラウド管理

位置・打設データをクラウド管理することで、施工情報を共有することができます。

データは2D・3D化することで進捗状況・出来形等も目視で確認ができます。

表示方法も、条件により色分けも可能です。

2D進捗管理



3D出来形確認

